

令和5年度（2023年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会 議事録

【開催場所】 書面審議

【発送日時】 令和5年（2023年）11月24日（金）運営委員会資料発送

<p>1. 熊本市勤労青少年ホーム運営委員会委員長及び副委員長の選出 委員7名による互選により、委員長及び副委員長は次のとおり選出。 委員長 徳永 洋（熊本学園大学招聘教授） 副委員長 渡邊 貴美子（元熊本市勤労青少年ホームフラダンスサークル講師・北部公民館北部東分館主催講座（フラダンス）講師）</p> <p>2. 令和5年度（2023年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会の成立について 委員7名中7名の審議をいただいたことから、令和5年度（2023年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会は成立。</p>
<p>議事1 令和3、4、5年度熊本市勤労青少年ホーム運営状況について 【審議資料：4～8ページ及び、統計資料】</p>
<p>意見照会事項</p>
<p>当館が実施した事業に関し、ご意見をお願いします。 ※利用人数等については、令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の発生及び拡大により、当館の休館等に伴い、主催講座及び貸館業務を中止としたりしたため、大幅に減少しています。</p>
<p>議事1に対するご意見</p>
<ul style="list-style-type: none">・令和4年度に比べ、令和5年度は、利用件数と利用人数が増加している。新型コロナウイルス感染症による利用減から立直ってきていると感じており、今後の推移を注視したい。・コロナの影響による講座数の減少はやむを得ないと思われる。・令和5年になり様々な活動が活性化しているので、地域を呼び込む活動にも頑張ってもらいたい。・ピラティスやヨガを無料で受講できるのは大変魅力的なことだと思う。 講座受講の魅力として、講座を受講した人たちとの交流というのもあると思われるので、受講された方を対象に、更にレベルアップ編の開催を検討するのも良いのではと考える。・今年度、9月末時点では、コロナ禍の時より多少開催される講座数は増加傾向にあるようだが、講座の数はコロナ禍前の数には程遠いので、利用人数を増やすと共に何か対策が必要であると思われる。

(事務局回答)

・魅力ある講座内容となるように、利用実態及びニーズの把握に努めるとともに、利用者の意見を聴取しながら講座を計画することが必要と判断しています。

議事2 運営の課題と今後の方針について

【審議資料：9～10ページ】

意見照会事項

運営の課題と今後の方針に関して、ご意見をお願いします。

議事2に対するご意見

・令和5年度の利用登録状況を見ると新規が令和4年度に比べ8名減。一方、継続が5名増となっており、新規利用登録者増を図る必要を感じた。

なお、住所別内訳を見ると令和4年度に比し、中央区と北区で減少しており、両区への働きかけの必要性を感じた。

広報活動については、11、12ページに書かれている内容で良いと考える。できれば、企業向けにもPRされると存在をより知って頂けるかと思われる。

勤労青少年ホームの存在を知らない人が多いと思われるので、例えば、地元テレビ局の番組とかにPRを依頼する方法もいいのかと思う。

・講座内容の見直しについては、方針の通り賛同します。一方で「勤労青少年ホーム」という名称そのものが、時代にそぐわないイメージもあり、親しみやすい名称があっても良いと思う。

・画像の編集や動画撮影など、青少年が興味を持つような取り組みも良いと思う。

・9ページにございました「企業のニーズに合った研修」に関しては、時間と費用の問題がクリアになれば実施したいと考える事業所は多いのではと思われる。最近、特に「メンタルヘルスマネジメント」「アンガーマネジメント」「パワハラ防止のコミュニケーション」などはニーズの多いテーマである。

青少年の職業能力の向上という意味では、就活されている方を対象に、面接の受け方、話し方、印象アップ、模擬面接などのニーズが高いと考えられる。副業のサポートや再就職支援も時代のニーズにあっていると判断している。

・スポーツ講座に関しては、このままシリーズ化して利用の継続性を図りつつ、文科系講座に関しては、単発講座を増やし、参加のハードルを下げながら魅力ある講座を開催していく必要があると思われる。

・勤労青少年ホームの魅力をもっと多くの人に知ってもらえるよう認知度を上げていく事が近年の課題であると思われる。文科系の定員割れを防ぐ為の開催する際の発信の工夫が更に必要だと考える。例えば、一般貸館の昼の時間帯の多くの人がある場での宣伝等、お子さんやお孫さんなどへの紹介も必要ではないかと考える。

(事務局回答)

- ・講座の内容、広報媒体及び手段については、今後の状況を見ながら検討してまいります。

議事3 その他について

※その他、全般にご意見等ございましたら、ご記入くださいますようお願いいたします。

・以前のような活気ある勤労青少年ホームに戻るように色々と見直しを図ってほしい。また、他市の同じような施設では同じコロナ禍の中でもにぎわいや活発な活動もされているのを見ている。やり方を今までと変えなければずっと変化のないままなので、明るい施設になるよう積極的な見直しを今後も行ってもらいたい。

(事務局回答)

- ・上記ご意見などを踏まえて、今後の状況を見ながら検討してまいります。